

千歳の高齢者施設 相次ぐ感染者

「介護崩壊」現場恐々

千歳市内の高齢者介護施設で、新型コロナウイルスの感染者が相次ぎ確認されたことを受け、介護士の自宅待機などによる人員不足やサービスの縮小が起きている。感染リスクも懸念される中、利用者の新たな受け入れ先やスタッフの確保が難しい現状も。「介護崩壊」につながりかねない事態を恐る中、地域内で連携し、人繰りや物資確保に取り組む動きも出てきた。(三)坂郁夫、岩崎あゆみ、斎藤千絵

人員不足サービス休止も

「サービスを止めれば、入居者は生活できなくなる。必死で介護士を確保している」。入居者ら10人の感染が確認された千歳市内のグループホームの運営法人の社長はこう話す。

で生活を続けた。感染対策として1人の介護士が担当する人数を絞り込み、足りない人員は同法人が運営する別の事業所に応援を頼んだり、夜勤を増やすなどしてしのいだという。

1人が入院中で、少しでも体調を崩した介護士は休ませるなどの対応をしており、依然余裕はない。社長は「限られた人員で何とか対応していくしかない」とつぶやく。

利用者への影響も出始めている。23日に介護職員ら6人の感染が確認された千歳市内の通所介護施設は20

日以降確認されておらず、現在は感染が確認された約18人が入居。一方、職員は

日から通所サービスを休止。約50人の利用者が施設に通つての介護を受けられ

ない状況だ。市内では、感染が確認されていない通所施設でも独自に休止を決めたところもある。

特に通所施設は入所施設と比べ、家族など外部との接点が多い。札幌市内で通所介護施設などを運営する社会福祉法人札幌光陽会の中野芳弘理事長は「感染リスクが高い反面、食事や入浴介助があつて初めて生活が成り立つ人もいる。今はど

こで感染者が出るか分からない状況だ。市内では、感染が確認されていない通所施設でも独自に休止を決めたところもある。

特に入所施設は入所施設と比べ、家族など外部との接点が多い。札幌市内で通所介護施設などを運営する社会福祉法人札幌光陽会の中野芳弘理事長は「感染リスクが高い反面、食事や入浴介助があつて初めて生活が成り立つ人もいる。今はど

こで感染者が出るか分からない状況だ。市内では、感染が確認されていない通所施設でも独自に休止を決めたところもある。



千歳市内の介護施設の営業状況などについて情報を収集する市在宅医療・介護連携支援センターの職員

全国858事業所休業

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、高齢者が自宅から施設に行く通所介護(デイサービス)や短期宿泊(ショートステイ)の全国858事業所が休業していることが24日、厚生労働省の調査で分かった。高齢者の死に事例が相次いでお

へへの応援の可否、マスクなど資材の在庫などに開する聞き取りを開始。これまで通所サービスが休止中の施設などから約20人が応

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、高齢者が自宅から施設に行く通所介護(デイサービス)や短期宿泊(ショートステイ)の全国858事業所が休業していることが24日、厚生労働省の調査で分かった。高齢者の死に事例が相次いでお

へへの応援の可否、マスクなど資材の在庫などに開する聞き取りを開始。これまで通所サービスが休止中の施設などから約20人が応

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、高齢者が自宅から施設に行く通所介護(デイサービス)や短期宿泊(ショートステイ)の全国858事業所が休業していることが24日、厚生労働省の調査で分かった。高齢者の死に事例が相次いでお

へへの応援の可否、マスクなど資材の在庫などに開する聞き取りを開始。これまで通所サービスが休止中の施設などから約20人が応